解答（問７～１３）

問７：dの慢性硬膜下血腫

問８：a

 ・「遂行機能障害」は実行機能障害とも言い、仕事や家事の要領が悪くなること

　　　・８５歳以上では約３分の１の人が認知症

　　　・看護が介入することで変化があると思われる

問９：b

　　　・一番多いのはアルツハイマー型認知症、次いで脳血管性認知症

　　　・βアミロイドが大脳皮質に現れるのはアルツハイマー型認知症

　　　・レビー小体型は脳幹と大脳皮質に多くのレビー小体が出現する

　　　・寝たきりになる原因第１位は脳卒中、２位が認知症、３位が骨折転倒である

問10：c

問11：a

　　　・家族は人それぞれなので、看護師の考える家族像を押し付けてはいけない

問12：b

　　　・事故件数第1位は転倒、第2位転落、第3位誤飲・誤嚥

問13：a

　　　・薬物の効果の強弱は、血漿タンパクとの結合の強さで決まるので、全部が強く結

合しているわけではない